



U.S.A./FDA/MDM
((Registered and Certified))

Airstretcher®

エアーストレッチャー®シリーズ

取扱い説明書

<レイズローバル>

商品番号[CYN-11R]



収納方法



1 バルブが開いているのを確認し、足側からゆっくり丸めていきます。

注意 急いで丸めると、中のエアーマットが破損してしまう恐れがあります。



2 最後にバルブを締め、附属のベルトで固定し、収納します。

オプション オプションにより、使用用途が拡大します。



三連結担架棒使用による搬送例



三連結担架棒 [PSS-023]
エアーストレッチャー®シリーズ全商品にセットできる担架棒でキャリーバッグに入っています。搬送用具が無い場合、毛布や服などで応急担架を作ることができます。



ハンドベルト、ショルダーベルトを使用したホールディング搬送例



ハンドベルト [08Q-HBT] ショルダーベルト [08Q-SB0]
ハンドベルト・ショルダーベルトをワンタッチでセットすると、ホールディング搬送（抱え）を行うことができます。

特徴 エアーストレッチャーは、患者さんに乗せたままX線撮影・透過することができます。

● 搬送後寝具として雪の中でも待機できます ● 災害救援医療チームの必需品

● 水に浮く



(写真提供:長野市営プール) 使用製品:フロ/型式CYG-060



石畳・石階段 使用製品:ラップ・ローバル/型式CYR-04T
雪上 使用製品:フロ・ローバル/型式CYG-06T



DMAT隊員の資材

<エアーストレッチャー®を使用した訓練風景> 安全で正確にご使用いただくため、予行練習を行ってください。



(写真提供:信州大学医学部)

(写真提供:新潟県立がんセンター)

(写真提供:岩手看護専門学校)

(写真提供:高知赤十字病院)

災害拠点病院資材・備蓄資材・SARS・NBC災害資材・DMAT災害救援医療チーム資材・総合カタログご請求は



エアーストレッチャー® 株式会社

〒380-0802 長野県長野市上松4丁目1番1号
TEL:026-259-3400 FAX:026-259-3385
http://www.airstretcher.jp
E-mail:info.us@airstretcher.jp



IMPORTED BY K&K GLOBAL NETWORK CORPORATION

www.airstretcher.jp
E-mail:info.us@airstretcher.jp



エアーストレッチャー®

日米特許取得・日米共同開発

「エアーストレッチャー®は、キャビーインターナショナルの登録商標です。」



このエアーストレッチャー®は、日本の実用新案登録2057444号、特許3059986号、米国特許5317770号を取得しています。

空気が自動でマットに入り、何回も使用できる

キャビーオリジナルエアーマットは、米国製バイナルテクノロジー社または、特許#3935690（米国）を取得のカスケード社のマットを使用。バルブを開けるだけで空気が自動的にマットに入ります。薬品・ガスは使用しません。



安全上のご注意を必ずお守り下さい

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。



注意

- 安全ベルトを使用する場合は、必ずカチッと音がなるのを確認してから搬送してください。
- エアーマット内に水を入れしないでください。
- カッターナイフやアイスピックのような物の上で使用しないでください。
- エアーストレッチャーの上で飛び跳ねないでください。
- むやみに分解、改造等しないでください。

ご使用いただく前に!



- 最初は空気の入りが悪い場合があります。使用毎に空気の吸入が良くなります。
- ご使用前に、暖かな部屋で一晩バルブを開いた状態で広げておく事をお勧めします。空気の入りが良くなります。
- 本体が汚れた場合は、中性洗剤で固く絞ったタオルで拭きあげ、アルコール等で消毒してください。

展開方法



- 1 エアーストレッチャー本体左上に黒いバルブがあります。反時計回りに回してください。エアは自動で入ります。

補足 緊急時、バルブは締めずに搬送しても構いません。スプリンクラー作動など水が入ってしまう恐れがある場合は、バルブを締めてください。



- 2 3カ所の安全ベルト、側面のファスナーを開きます。



- 3 写真のように中に患者を乗せ、ファスナー、安全ベルトで固定します。

注意 この時、必ずオレンジの輪を通してください。



誤 × 正 ○



平地搬送方法

一人搬送



【一人搬送例】

二人搬送



【二人搬送例】

補足 平地搬送では、患者の頭側が進行方向となります。搬送者は声をかけ合いながら搬送してください。

- 1 搬送者は黒いループベルトを持ち、進行方向へ進みます。

注意 必ず進行方向を確認してから搬送してください。

- 1 搬送者は黒いループベルトを持ち、進行方向へ進みます。
- 2 後ろの搬送者は、軽く上げながら進行方向へ進むと、前の搬送者は楽に引っ張る事ができます。

階段搬送方法

階段下げ方



- * 階段では、患者の足側から降ろしていきます。
- * 搬送者は声をかけ合いながら降ろしてください。
- * 患者の重さを利用して降りていきます。

- 1 下の搬送者は患者が反り返らないように、平行に引きます。

補足 この時、ハンドベルトと一緒に持つと、引きやすいです。



- 2 上の搬送者はループベルトで患者の上半身を持ち上げ、それと同時に下の搬送者は患者の足を下ろします。
- 3 下の搬送者は向きを変え、患者の横に立ちます。
- 4 このまま降ろしていきます。

補足 腕・背筋を伸ばし、後ろに倒れるように支えると楽です。

注意 下の搬送者はむやみに患者を引き下ろさないでください。運ばれる患者の重さで自然に下がってきます。

階段上げ方



- 1 搬送者はエアーストレッチャーの上部につきます。

- 2 レイズグリップを持ち、引き上げます。

注意 この時、ループベルトも一緒に持つてください。

